

事業所名	ゆーもあstudio
------	------------

公表日

2025年3月5日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学年・指導内容毎に、訓練室・学習室・面談室・クールダウンスペースとに分かれて活動できるよう工夫している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		経験豊富な職員を加配、年齢や個別対応に必要な児等、児童の特性に合わせ職員数の調整を行っている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		各居室ごとに使用方法や物品が片付けしやすい配置・指示を工夫、視覚情報を多く掲示し子どもにとってわかりやすい環境を整備している。	バリアフリー化については現在ご利用中の児童には特に必要のない状況ではあるが、今後必要に応じて検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子ども達による活動終了時の清掃及び職員が各部屋を分担して清掃点検を日々行っている。	食品衛生管理責任者を配置し衛生管理には細心の注意を払っているが、感染症対策等の強化に向け更に検討していきたいと思ひます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		児童の状況や必要に応じて、職員に確認、許可を得て個別学習等に使用できる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月常勤全員参加で会議を行い、より良い業務や支援が行われることを目標に参画を行っている。	非常勤職員に向けての有効な情報共有手段を検討中。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常勤全員で確認振り返りを行い、児童発達支援管理責任者を中心に保護者の意向をふまえた改善に向けての取り組みを検討実行している。	年1回の自己評価に加え日々サービス提供記録コメントを頂いた内容の振り替りを行い、個別支援計画に関するアンケートも別途実施し意向把握に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		管理者による個別面談の他、日々のミーティングで各職員の意見を聞き、より良い業務改善に向けて常に意識している。	職員の経験や世代等考え方や意見の相違を肯定的に捉える機会を意識して増やしている。納得するまで話し合い、より良い業務改善に向け努力していきたいと思ひます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は行っていないが、必要に応じて実施を検討していきたいと思ひます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年度初めに参加しやすい研修会の情報提供を行い、職員の経験等に合わせた研修参加、共通理解が必要な分野については法人内での研修を行っている。	現在は職員が全員5年以上の経験者の為必要とされていないが、今後初任者研修の整備等を進めていきたいと思ひます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		利用者の年齢や利用曜日毎に合わせた活動プログラムを会議検討作成し、HPにて公表している。	適宜見直しを行っていききたいと思ひます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用開始の際と個別支援計画見直しの際にアセスメントを行いニーズを確認、職員間での会議や日々の支援の意見交換で児童発達支援管理責任者に還元、作成している。	面談によるニーズ把握の機会を増やしていきたいと思ひます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成会議にて様々な職員の意見を傾聴し、多面的かつ長期的な視点で児童の強みを活かした支援を考えることが出来るよう配慮している。	非常勤職員の意見を聞く機会を増やし、より多くの視点で支援が進められるよう考慮したいと思ひます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の支援にかかわる全職員が閲覧しやすい工夫をしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなアセスメントを参考に事業所オリジナル作成のアセスメントシートを作成し確認している。	適応行動や日々の行動観察は職員間のみ閲覧可能なシートへ記入管理しています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインをふまえた支援に必要な項目を網羅した内容をなるべく具体的に記述するよう心掛けている。	より本人・保護者の意向を細かく傾聴し、具体的かつ達成可能な支援目標を設定していきたいと思ひます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		常勤職員全員で各曜日毎の活動プログラムについての話し合いを行い、それぞれの曜日や来所児童に合わせた支援内容を担当職員が立案を行っている。	職員が増えたので担当や役割分担を進めていきたいと思ひます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月児童の考えや意見を発表する機会を定期的に行い、実現可能なプログラムを相談しながら行事プログラム等と組み合わせて支援を行っている。	日々工夫発展した内容に出来るよう助言しい見直しを行っていきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団に応じた支援内容をモニタリング結果に鑑み個別支援計画書作成を行っている。	平日の集団活動中も個々のニーズに合わせた個別支援を行っています。

事業所名 ゆーもあstudio

公表日

2025年3月5日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			毎日サービス提供前にその日の活動内容の打ち合わせを行い、送迎や支援内容の確認、担当児等役割分担を行っていますが、負担軽減見直しも考えていきたいと思っています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日必ずミーティングを行い情報共有や振り返り、必要事項の記録・連絡等を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の徹底、検証の為に閲覧保管方法について会議で意見交換し実践している。	支援の検証・改善については、各連携機関との情報交換やモニタリングの際、確認を行っています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画書交付の際のモニタリングで利用者の課題及び支援内容の見直しを行い内容を反映させている。	高学年の利用児童には個別面談を行い、意見を聞きながら保護者ニーズとのすり合わせを行っています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		様々な視点から自立や創作・交流機会・余暇をバランスよく取り入れ、偏りの少ない支援を心がけている。	「子どもによる企画会議」でも個々の視点を広げバランスの良い支援内容が提供できるよう工夫しています。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		毎月「企画会議」を行い、行いたいイベントの意見を発表、話し合い参加自己決定を支援、また、興味のある分野の「サークル活動」参加を促す工夫を行っている。	それぞれの児童のこだわりや特性を配慮しながら集団参加を自己決定出来る力を育てるよう支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		全利用者の状況を理解している児童発達支援管理責任者が参画している。	児童発達支援管理責任者のみならず、経験豊富な児童指導員が参画し意見交換ができるよう配慮しています。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて保護者同意をいただき、各関係機関との連携を行っている。	利用児にとってより良い支援の為に積極的に意見交換、情報共有の機会を増やしたいと考えています。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時のコミュニケーション・保護者との面談・連絡により行っている。	特に学級担任との連絡調整については、口頭にて確認できるよう心掛けています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	保護者を通じて連携や情報共有を行う。	保護者の必要に応じて連携を図っていききたいと考えています。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	現在該当利用者なし。	見学の機会を検討しています。ぜひ積極的に情報提供していきたいと思っています。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		訪問により連携を進めていく話し合いを行った。	今後担当者との連携を密にし、利用保護者にとってより良い助言や安心間を与えられるよう努めたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	近くの公園・公民館図書館の利用機会や地域交流の機会を増やしている。	自体がその機会でもありますが、今後地域活動を増やし共生機会を増やしたいと考えています。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		毎回参加している。	積極的に意見交換、情報共有の機会を増やしたいと考えています。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		活動写真の掲載と出来るだけ詳しいサービス提供記録の公開を心がけ、また、保護者会や面談機会等を多くとれるよう心がけている。	連絡が取れにくい保護者にはツールを工夫し、共通理解の機会を増やせるようにする事が課題です。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者へ参加のご案内を発信している。	家族支援プログラムや進路選択についての保護者会を不定期で行ってききましたが、今後は定期的にご案内できるようにしたいと考えています。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時には丁寧に行っているが、現状はシステム上やHPでご案内している。	ご理解が十分ではない保護者様へ向け、よりわかりやすい情報提供を心がけたいと思います。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用児童の観察や保護者面談によるニーズ・アセスメントの確認を十分に行うようになっている。	保護者の意向と利用児童の意思の相違等に配慮し、ご家族が納得して利用スタートできる事を目指しています。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		事前に課題や目標についてのアンケートをいただき、保護者の意向を確認しながら作成、同意をいただいている。	ご多忙で十分な面談の機会が取れずにいる保護者へのご説明の機会を増やせるようにしたいと考えています。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		平日午後及び土曜日等必要に応じて行っている。	職員のスキルアップを進め、保護者が安心して電話や面談によるご相談できる機会を今後も増やしていけるようにしたいと思っています。

事業所名 ゆーもあstudio

公表日

2025年3月5日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会の開催による保護者同志の交流の機会や公開イベントの際のきょうだい参加の声掛けを行っている。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ適切に対応している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月初に事業所通信をHUGにて発信し、活動内容や行動予定を発信している。また、重要な情報は、都度、迅速に発信している。	保護者の支援ニーズに沿った、よりわかりやすい情報提供が出来るよう工夫していきたいと考えています。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		社内で常時注意喚起している。	HUGを利用し連絡や活動状況開示時には、利用児の特定が避けられるように配慮しております。保護者に対しては、送信間違いや情報漏洩の危険性があるPCメールやSNSでの送信は廃止させていただきました。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭では連絡の漏れの恐れがある為、HUGでの『保護者との連絡』で文字で確認をとることにしている。	言葉の意味の取り間違い等が起こらないよう、なるべくわかりやすい表現での伝達を心がけています。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			当施設の利用児の特性から、特に必要性は感じられませんが、児童の社会性の観点から今後交流の機会を検討したいと思います。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアル関連は全て策定し職員に周知している。家族等についての周知を進めたい。	家族等についての周知は定期的なシステムでの伝達他、行事や訓練時に周知を図っていききたいと思います。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しHPで公開、定期的な避難訓練と非常時の職員対応について毎月確認を行っている。	垂直訓練、地震・火災訓練、消防訓練、引き渡し訓練は半期に2回以上実施しております。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時の保護者面談の際、確認。（特別な配慮が必要な児については成育歴配慮事項等文書提出をお願いしている）	服薬変更、発作等の情報はこまめに連絡確認をお願いし情報更新しています。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			施設ではおやつの提供を行っておりませんが、保護者からの情報をもとに、提供の際は十分留意したいと考えています。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		危機管理マニュアルを策定し職員に周知徹底している。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	引き取り訓練についての詳細をご理解お願いしている。	年2回の訓練時のみの周知では十分でない為、毎月の通信でお知らせご理解を頂きたいと思っています。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々の療育日誌の記載時に記録、再発防止の検討ミーティングを行っている。	些細な事でも裏側にある利用児の気持ちの共通理解や再発防止に向けて検討を行っています。また、月次のスタッフミーティングでも確認しています。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		1回/月、虐待防止委員会を設置し、起こりうる背景や虐待事例を検証する等、情報共有・検討を行っている。	外部研修の参加も積極的に行いたいと考えています。
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	保護者に対しては、契約時、重要事項説明書にて説明し理解を得ているが、個別支援計画書には必要とされる際記載する。	身体拘束が必要な事例はほとんどありませんが、やむを得ず実施した場合には「身体拘束記録」を作成し、職員で回覧し、保護者に都度状況説明を行います。また、月次のスタッフミーティングでも確認しています。	